

製品名: PPP1R15B ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00501**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 79 kDa; Observed MW: 79 kDa

抗原情報

遺伝子名	PPP1R15B
別名	PPP1R15B; Protein phosphatase 1 regulatory subunit 15B
遺伝子 ID	84919.0
SwissProt ID	Q5SWA1
免疫原	抗血清はヒト PPP1R15B の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 411-460

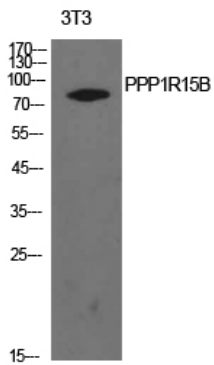
背景

PP1 による脱リン酸化を促進することにより、ストレスを受けていない細胞における EIF2S1 のリン酸化を低レベルに維持します。

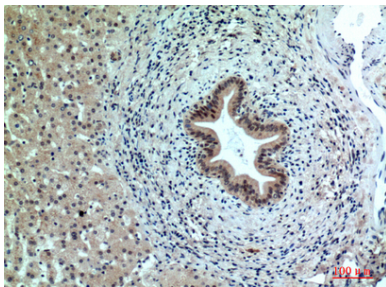
研究分野

シグナル伝達

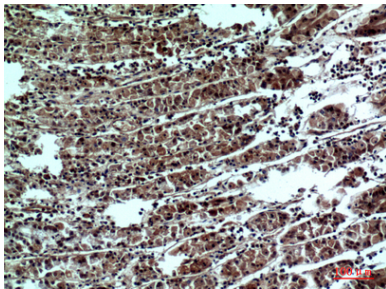
画像データ



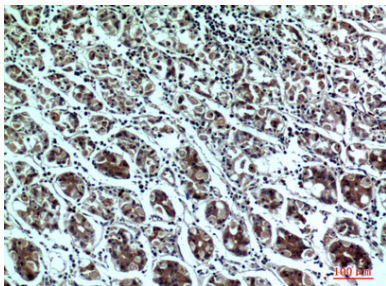
PPP1R15B 抗体を使用した NIH3T3 溶解物中の PPP1R15B のウエスタン ブロット分析。



PPP1R15B 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



PPP1R15B 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胃の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



PPP1R15B 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胃の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。